

# LGBT理解深めて

## 宮崎産経大で人権講座

宮崎市の宮崎産業経営大は5日、人権講座「セクシヤルマイノリティーの人権について考える」を同大学

で開いた。学生や市民ら約70人が参加。専門家の講演などを通じ、性的少数者(LGBTなど)の人権に

性的少数者を取り巻く現状や今後の課題などについて説明した  
中塚幹也医師 5日午後、宮崎市・宮崎産業経営大



ついて理解を深めた。

県人権啓発推進協議会の委託を受け開催。岡山大学院保健学研究科長の中塚幹也医師が講師を務めた。

中塚医師は大学の入学願書や自治体の書類で性別欄が廃止されるなど、社会で性的少数者への理解が徐々に広がっていることを紹介。一方で、「性同一性障

害を理由に解雇されるケースもある」などと、依然として職場や学校で生きづらさを感じている当事者が多いことも指摘した。

その上で、中塚医師は「当事者が普通」に生活できるために、自治体や企業が一層取り組みを進める必要性などを訴えた。

(久保真一郎)